

Fiery Command WorkStation

© 2026 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2026 年 11 月 9 日

目次

Fiery Command WorkStation の概要 5
Fiery Command WorkStation ワークスペース 5
Fiery アカウント 6
Fiery アカウントのサインアップ 7
Fiery スマート検索 7
ジョブセンター 8
処理中ジョブと印刷中ジョブの状況 9

Fiery サーバーの追加と接続 10
Fiery サーバーに接続するためのアクセスレベル 10
Fiery サーバーへの接続 10
Fiery サーバーを追加して接続する 10
使用可能な Fiery サーバーを検索する 11
Fiery サーバーからログオフする 12
別の Fiery サーバーを表示する 12
サーバーリスト 12

Command WorkStation のアンインストール 13

Fiery Command WorkStation のカスタマイズ 14
Fiery Command WorkStation に環境設定を設定する 14
ペインの展開/折りたたみ 15
ツールバーをカスタマイズする 15

ジョブをアーカイブする 17
アーカイブマネージャーでの初回セットアップ 17
アーカイブマネージャーを使用してジョブをアーカイブする 18
アーカイブ済みジョブの概要 18
移行中にアクセスできないフォルダー 19
アーカイブ先を管理する 19
アーカイブを共有する 19
アーカイブ済みジョブの検索 20
アーカイブ済みジョブを使用する 20
アーカイブマネージャーの使用不可にする 20
アーカイブマネージャーを使用せずにジョブをアーカイブする 21

Fiery Command WorkStation の概要

Fiery Command WorkStation は、Fiery サーバー向け印刷ジョブ管理インターフェイスです。

Fiery Command WorkStation では、複数の Fiery サーバーに接続したうえで、ジョブを一元管理できます。直観的なインターフェイスにより、オペレーターやシステム管理者は、処理するジョブの数やタイプに関係なく、複雑なタスクを簡単に処理できます。

ジョブセンターは Fiery Command WorkStation の統合機能であり、ジョブの検索とプレビュー、ワークフローの割り当て、印刷の管理を行うためのツールが含まれています。

Fiery Command WorkStation ツールを使用して、次のタスクを実行できます。

- ジョブのインポートとプレビュー
- Fiery サーバーに関する情報の表示
- プリントオプションの指定
- カスタムワークフローの表示と変更
- プリプレスジョブワークフローの管理
- 面付けソフトウェアやメイクレディアプリケーションなどの Fiery アプリケーションを使用したジョブの準備とアセンブリ

Fiery サーバーには数々のオプション機能が用意されており、それらはすべて Fiery サーバーの取扱説明書で説明されています。ただし、サンプル印刷などのオプション機能は接続している Fiery サーバーでサポートされている場合のみ、Fiery Command WorkStation で表示されます。

Fiery Command WorkStation ワークスペース

メインウィンドウでは、接続されているすべての Fiery サーバーまたは選択したサーバーで発生しているアクティビティの概要が表示され、各種機能にアクセスできます。

Fiery サーバーを Fiery Command WorkStation に追加する方法については、Fiery サーバーの追加と接続（10 ページ）を参照してください。

メモ：表示内容は Fiery サーバーごとに異なります。概要を以下で説明します。詳細については、ジョブセンターの**ヘルプ**メニューからアクセスした Fiery サーバーの Fiery Command WorkStation ヘルプを参照してください。

Fiery Command WorkStation メインウィンドウには次の領域が含まれます。

- メインメニュー – 各種コマンドにアクセスできます。
- サイドバー – ボタンによるナビゲーションを Fiery ロゴの直下の次の画面に表示します。
  - **ホーム** {nbh} 接続している Fiery サーバーの状況の概要と、1 週間以内に実行した印刷プロダクションに関する統計情報のスナップショットが表示されます。
  - **ジョブセンター** {nbh} 接続されている Fiery サーバーに送信されたジョブの表示および管理に使用します。
    - **サーバー** - ジョブキューやジョブ状況が一覧表示されます。一部の Fiery サーバーでは、使用可能な用紙や消耗品も表示されます。各 Fiery サーバーの表示を折りたたむと、表示できるサーバーの数が増えます。
    - **ジョブ状況** - 現在処理中のジョブと印刷中のジョブの状況が表示されます。このジョブを管理するには、**サーバー**リストで**処理中**キューまたは**印刷中**キューをクリックします。
    - **プレビュー** - 処理済みジョブの内容がサムネイルで表示されます。Fiery システムソフトウェア FS300/300 Pro 以降を搭載した Fiery サーバーでは、スプール済みジョブや処理済みジョブのサムネイルが表示されます。
    - **概要** - ジョブ名またはタイトル、ページ数またはシート数、部数など、選択したジョブの情報が表示されます。スプール時間または処理時間、使用されている用紙、プリフライトまたはジョブの検証結果など、その他の情報が、選択した Fiery サーバー別に表示されます。鉛筆アイコンをクリックすると、一部のジョブプロパティのフィールドを編集できます。
    - **履歴** - ジョブの作成、処理、印刷、キャンセルなどのジョブの履歴のアクションに関する情報が表示されます。また、処理エラーや印刷エラーの日時、または処理がキャンセルされた日時も表示されます。印刷済みアクションおよびキャンセルされたアクションでは、部数やページ数などのジョブ特性が表示されます。
    - ジョブ一覧 – ジョブのリストと、実行できるジョブアクションをまとめたツールバーが表示されます。ジョブを右クリックすると、ジョブアクションの完全なリストが表示されます。
  - **アプリおよびリソース** {nbh} インストールされているすべての Fiery アプリケーションに 1 回のクリックでアクセスできるほか、Fiery サーバーの他のアプリケーションやリソースも表示されます。選択した Fiery サーバーでサポートされている無料のソフトウェアトライアルやダウンロードにもアクセスできます。

    メモ：使用可能な**アプリおよびリソース**の一覧を表示するには、インターネット接続が必要です。
  - **Fiery IQ**（クラウドアイコン）{nbh} Fiery Command WorkStation 設定をクラウドにバックアップしたり、他のユーザーと設定を共有したり、印刷パフォーマンスを監視したりできる Fiery アカウントにアクセスできます。
  - **Fiery スマート検索** - Fiery のナレッジベースを検索して、Fiery Command WorkStation や Fiery 機能について詳しく知ることができます。

Fiery アカウント

Fiery アカウントを使用すると、Fiery Command WorkStation 設定をバックアップしたり、無料の Fiery IQ 機能やリソースにアクセスしたり、Fiery Command WorkStation の最新バージョンをダウンロードしたりできます。

Fiery アカウントを会社に関連付けると、追加の Fiery 機能とリソースをクラウドで使用できるようになります。Fiery Command WorkStation 設定を共有すると、ユーザー間で同じワークスペースを作成できます。

メモ：会社アカウントに参加するには、システム管理者の許可が必要です。

Fiery アカウントのサインアップ

新しい Fiery アカウントを作成するには、有効な E メールアドレスが必要です。

Fiery アカウントを使用して Fiery IQ にサインインし、クラウドサービスにアクセスしたり、新しい Fiery アカウントを作成したりできます。

Fiery IQ クラウドアプリケーションにアクセスするには、既存の Fiery アカウントを会社に関連付ける必要があります。既存の Fiery アカウントでサインインした場合は、7（7 ページ）に進み、会社情報をアップデートします。

1 ブラウザから、https://iq.fiery.com に移動します。

2 **サインアップ**をクリックします。

3 テキストフィールドに情報を入力します。

メモ：アスタリスクが付いたテキストフィールドは必須です。

4 **続行**をクリックします。

Fiery IQ は、登録コードを記載した E メールをサインアップユーザーの E メールアドレスに送信します。

5 E メールアドレスを確認するには、この登録コードを入力し、**続行**をクリックします。

メモ：登録メールが届かない場合は、スパムや迷惑メールフォルダーを確認してください。

6 **続行**をクリックします。

7 会社情報を入力し、**続行**をクリックします。

メモ：アスタリスクが付いたテキストフィールドは必須です。

8 次のいずれかの操作を行います。

- 既存の会社アカウントに参加する場合は、**追加を要求**をクリックします。

  Fiery IQ は、会社のシステム管理者に要求を送信します。この要求が会社のシステム管理者によって承認された場合、Fiery IQ にアクセスできます。

- 独自の会社アカウントを作成する場合は、**会社のアカウントを作成する**をクリックします。

9 必要に応じて、**続行**をクリックします。

10 必要に応じて、Fiery アカウントのログイン情報を使用して Fiery IQ にサインインします。

11 画面の指示に従ってプリンターを Fiery IQ に接続します。

Fiery スマート検索

Fiery スマート検索で、情報やトレーニングリソースを検索して、Fiery Command WorkStation や Fiery 機能の詳細を調べることができます。

Fiery スマート検索では、Fiery のナレッジベースで以下のリソースを検索できます。

- ヘルプ文書
- Fiery Communities
- ハウツーガイド
- Fiery 製品ガイド

1 ジョブセンターで、Fiery サイドバーの左下にある Fiery スマート検索アイコン（拡大鏡）をクリックします。

Fiery スマート検索は、別のウィンドウがジョブセンター上で開かれていない限り、いつでもサイドバーの左下で使用できます。

2 **Fiery 情報の検索**領域で検索用語を入力し、**Enter** を押します。

マウスまたはスクロールバーでリストをスクロールできます。

検索ウィンドウには一度に 10 件の結果が表示されます。

3 検索結果をクリックします。

情報はデフォルトの Web ブラウザーで開きます。

ジョブセンター

Fiery Command WorkStation のジョブセンターでは、接続済み Fiery サーバーに送信されたジョブを表示および一元管理できます。ジョブセンターには印刷中キューと処理中キューのほか、待機ジョブ、印刷済みジョブおよびアーカイブ済みジョブのリストもあります。

ジョブセンターでは、次の操作を実行できます。

- 検索対象の各 Fiery サーバー内でのジョブの検索、ジョブのプロパティの表示、ジョブのプレビューツールバーからさまざまな機能へのアクセス
- ジョブ一覧で任意のジョブを選択し、ジョブ名の最初の数文字を入力して選択します。
- ワークフローの割り当てとジョブの管理
- ジョブ一覧のカスタムビューによる効率的なジョブ管理
- **すべてのジョブ**のすべてのジョブを表示し、すべてのキューにあるすべてのジョブを表示
- すべての Fiery サーバーの状況を表示
- プリンターに関する情報の表示
- ジョブのプレビュー
- ジョブ概要ウィンドウでのプロパティの編集
- **履歴**ウィンドウでのジョブの履歴からのアクションの表示

- デスクトップから Fiery Command WorkStation へのジョブのドラッグアンドドロップ
- 使用している Fiery サーバーの 『ヘルプ』 にアクセスします。

処理中ジョブと印刷中ジョブの状況

ジョブセンターの上部にある**処理中**ウィンドウと**印刷中**ウィンドウ（青い長方形）には、それぞれ処理中のジョブと印刷中のジョブの進行状況が表示されます。

Fiery サーバーが HyperRIP モードをサポートしている場合は、さらに詳しい状況を知ることができます。ジョブがページ平行モード（単一ジョブモード）で処理されている場合は、**ジョブセンター**の**処理中**ペインに表示される進行状況バーが分割され、使用中のプロセッサーごとの進行状況が示されます。ジョブがジョブ平行モード（複数ジョブモード）で処理されている場合は、**処理中**ペインのジョブ状況カラムがさらに分割され、処理中のジョブごとの進行状況が示されます。

Fiery サーバーの追加と接続

Fiery サーバーに接続するためのアクセスレベル

システム管理者、オペレーターまたはシステム管理者がアクセス権を付与した任意のユーザーとしてログオンできます。システム管理者は各ユーザーに対し、パスワードを設定できます。

- **システム管理者** {nbh} Fiery Command WorkStation および Fiery サーバーのすべての機能にアクセスできます。システム管理者のパスワードが必要です。
- **オペレーター** – ジョブセンターの全機能にアクセスできます。オペレーターのパスワードが必要です。**Configure** > **ユーザーアカウント**で、オペレーターグループに追加の権限を付与できます。
- ユーザー名 {nbh} システム管理者が **Configure** を使用してユーザーをオペレーターグループまたはシステム管理者グループにすでに追加している場合、ユーザーは自分のユーザー名でログインできます。システム管理者は、ユーザーを作成してグループに割り当て、そのグループに権限（ゲストの権限やサーバープリセットの作成権限など）を割り当てます。

アクセスレベル設定の詳細については、Fiery サーバーの取扱説明書を参照してください。

Fiery サーバーへの接続

Fiery Command WorkStation を使用するには、Fiery サーバーに接続する必要があります。

Fiery Command WorkStation の**サーバー**リストは、使用可能なすべての Fiery サーバーへのアクセスを管理します。Fiery サーバーの追加、接続、削除、切断を選択できます。

Fiery サーバー追加ウィンドウにサーバー名または IP アドレスを入力して、Fiery サーバーを検索できます。サーバーを接続して認証された後に、IP アドレスは**サーバー**リストの Fiery サーバー名に切り替わります。Fiery Command WorkStation は、一度に複数の Fiery サーバーに接続できます。

Fiery サーバーへの接続が切断された場合、 Fiery Command WorkStation は自動再接続を試みます。Autoreconnect に関する詳細については、Fiery Command WorkStation に環境設定を設定する（14 ページ）を参照してください。

Fiery サーバーを追加して接続する

Fiery サーバーを追加し、接続および再接続できます。

Fiery サーバーを追加するには、サーバー名または IP アドレスが必要です。

サーバー名または IP アドレスがわからない場合は、検索機能を使用してネットワーク上で使用可能な Fiery サーバーを見つけることができます。使用可能な Fiery サーバーを検索する（11 ページ）を参照してください。

1 **サーバー**リストまたは**ホーム**スクリーンでプラス記号（+）をクリックします。Fiery サーバーの IP アドレスまたはサーバー名を入力し、**追加**をクリックします。

2 **ユーザー**リストからユーザーを選択し、適切なパスワードを入力します。
ユーザーはデフォルトのユーザー名（**システム管理者**および**オペレーター**）に加えて、自分のユーザー名でもログインできます。ただし、その場合はネットワーク管理者が事前にユーザーをいずれかのグループのメンバーに設定しておく必要があります。

3 **ログイン**をクリックします。

4 **サーバー**リストの Fiery サーバーに接続したことがある場合は、その Fiery サーバーを選択し、**接続**をクリックします。

使用可能な Fiery サーバーを検索する

Fiery サーバーのサーバー名または IP アドレスがわからない場合は、ローカルエリアネットワークで Fiery サーバーを検索できます。ローカルコンピューターが含まれているサブネット内か、特定のサブネットまたは IP アドレスの範囲内を検索できます。

1 **サーバー**リストでプラス記号（＋）をクリックします。

2 **Fiery サーバー追加**ウィンドウにローカルサブネットの自動検索結果が表示されない場合や、サーバー名または IP アドレスが不明な場合は、**高度な検索**をクリックします。

3 次のいずれかの操作を行います。

- 特定の IP アドレス範囲内で Fiery サーバーを検索するには、**検索**メニューから **IP 範囲**を選択します。
  - 検索を開始する IP アドレスを**開始**に入力します。オクテットの最初から検索するには、「0」と入力します。例：10.100.10.0
  - 検索を終了する IP アドレスを**終了**に入力します。オクテットの最後まで検索するには、「255」と入力します。例：10.100.10.255
- 特定のサブネット範囲内で Fiery サーバを検索するには、**検索**メニューから**サブネット**を選択します。
  - 検索対象に含めるサブネット範囲を示す**サブネットアドレス**を入力します。どの数値でもかまわないオクテットには、「0」を入力します。たとえば、「10.100.10.0」を入力すると、「10.100.10.1」から「10.100.10.255」の範囲が検索されます。
  - 検索対象から除外するサブネット範囲を示す**サブネットマスク**を入力します。何も除外しないオクテットには、「0」を入力します。たとえば、「255.255.255.0」を入力すると、先頭の 3 つのオクテットのサブネットアドレス以外はすべて除外され、4 番目のオクテットでは任意の値が許可されます（例：「10.100.10.30」など）。

4 **実行**をクリックします。
検索結果には、検索条件に一致する使用可能な Fiery サーバーが表示されます。**キーワードでフィルタリング**フィールドにキーワードを入力することで、検索結果リストを絞り込むことができます。

5 結果リストから Fiery サーバーを選択し、**OK**、**追加**の順にクリックし、**サーバー**リストに追加します。

Fiery サーバーからログオフする

Fiery サーバーからログオフすると、Fiery サーバーと Fiery Command WorkStation の接続が切断されます。

1 **サーバー**リストから Fiery サーバーを選択します。

2 Fiery サーバーの名前の横にある詳細アイコンをクリックしてログアウトします。

別の Fiery サーバーを表示する

Fiery Command WorkStation では、接続している Fiery サーバーから別のサーバーに表示を切り替えることができます。

- 接続している Fiery サーバーから別の Fiery サーバーに表示を切り替えるには、**サーバー**リストの任意の Fiery サーバーをクリックします。

サーバーリスト

サーバーリストには、接続中または過去に接続された（現在は接続解除されている）Fiery サーバーに関する情報が表示されます。

サーバーリスト内に Fiery サーバーの IP アドレスを表示するには、ポインターをサーバー名の上に移動します。

サーバーリスト内のキューにファイルをドラッグできます。**サーバー**リストでは、接続しているプリンターの情報が Fiery サーバー名のすぐ下に表示されます。Fiery サーバーの名前の左側にあるプラス記号（+）をクリックすると、個々の Fiery サーバーを展開できます。Fiery Command WorkStation を終了しても、**サーバー**リストは消去されません。

Command WorkStation のアンインストール

Fiery Command WorkStation および関連アプリケーションをアンインストールする必要がある場合には、Fiery Software Manager を使用します。
アプリケーションのアンインストールは、コンピュータ上でそのアプリケーションが不要になった場合や問題のトラブルシューティング時に新たにインストールしたい時などに役立ちます。Fiery Command WorkStation はパッケージの一部であるので 、パッケージをアンインストールすると、Fiery Software Manager を含む関連アプリケーションもアンインストールされます。

1. Fiery Software Manager を起動します。
   Fiery Software Manager は、インストールされているアプリケーションの **Fiery** グループまたはコンピューターのデスクトップ右下隅にあるシステムトレイにあります。
2. **Fiery Command WorkStation Package** の上にカーソルを移動し、**除去**アイコン（ゴミ箱）をクリックします。
3. 画面の指示に従います。
4. または、Windows の**コントロールパネル** > **プログラムと機能**、および macOS の Fiery Software Uninstaller からアプリケーションをアンインストールすることもできます。

Fiery Command WorkStation のカスタマイズ

Fiery Command WorkStation に環境設定を設定する

Fiery Command WorkStation 全体に適用される環境設定を指定できます。たとえば、アプリケーションの設定を元のデフォルトにリセットすることもできます。

1 **環境設定**ウィンドウを開くには：

- Windows コンピューターの場合は、**編集** > **環境設定**をクリックします。
- Mac コンピューターの場合は、**Command WorkStation** > **環境設定**をクリックします。

2 **一般**で、次の一般環境設定を指定します。

- **表示** - Mac コンピューターで、ダークモードとライトモードのどちらを使用するかを選択するか、**システム**を選択して現在のオペレーティングシステムシステム設定を使用します。次回の Fiery Command WorkStation の起動時に変更が実装されます。
- **自動再接続**：**自動的に再接続**を選択すると、保存したパスワードを使用して、切断したサーバーに自動的に再接続します。
- **アップデート** {nbh} **今すぐ確認**をクリックして Fiery Software Manager を開き、Fiery Command WorkStation ソフトウェアおよび Fiery ワークフローアプリケーションの最新バージョンをオンラインで入手できるかどうかを確認します。
- **設定リセット**：**リセット**をクリックして、アプリケーションの設定を元のデフォルトに戻します。

  メモ：追加した Fiery サーバーは、パスワードと共に**サーバー**リストに保持されます。
- **データの消去**：**データの消去**をクリックすると、Fiery Command WorkStation に保存されているすべてのユーザーとサーバーのパスワードがすべて消去されます。
- **アーカイブマネージャー**：アーカイブマネージャーを有効にするか無効にするかを選択します。
- **ジョブタグ**：**サーバー**リストにタグを表示するかどうかを選択します。
- **Fiery ヘルスモニター**：Fiery サーバーのヘルス状況をジョブセンターで表示するかどうかを選択します。
- **改善プログラム**：ソフトウェアの品質、信頼性、パフォーマンスの向上 Fiery に協力するため、氏名、住所、その他の個人情報を含まない匿名の使用データを送信することに同意する場合は、該当するチェックボックスをクリックします。

3 **地域**で、次の地域設定を指定します。

- **言語**：Fiery Command WorkStation で使用する言語を選択します。デフォルトで、Fiery Command WorkStation は現在の地域のオペレーティングシステム言語を使用します（その言語がサポートされている場合）。言語がサポートされていない場合、Fiery Command WorkStation は英語を使用します。

  メモ：Fiery Command WorkStation の言語を変更すると、同じクライアントにインストールされている場合は Fiery Hot Folders の言語も変更されます。逆の場合も同様です。

- **測定単位**：ページサイズやカスタムサイズなどの属性を表示するための測定単位を指定します。この設定は定義済みのページサイズ値には影響を及ぼしません。

4 **ワークスペース**では、Fiery Command WorkStation ワークスペース設定を Fiery IQ クラウドにバックアップして、ワークスペース設定を他のユーザーと共有できます。

- **クラウドへのバックアップ/復元** {nbh} **開始**をクリックして、Fiery アカウントにサインインまたは Fiery アカウントを作成します。ログイン後、ワークスペース設定をバックアップまたは復元できます。
- **ワークスペース設定の共有**：**共有**をクリックし、ワークスペース設定を共有するか、ワークスペース設定を使用するようにユーザーを招待します。
- **インポート**：**インポート**をクリックして、他のコンピューターから Fiery Command WorkStation 設定をインポートします。
- **エクスポート**：**エクスポート**をクリックして Fiery Command WorkStation 設定を zip ファイルにエクスポートし、他の Fiery Command WorkStation クライアントの設定に使用できます。

5 **OK** をクリックして設定を保存し、**環境設定**ウィンドウを閉じます。

ペインの展開/折りたたみ

ジョブ概要および**サーバー**のウィンドウを展開したり折りたたんだりできます。**サーバー**ウィンドウで個々のサーバーを折りたたむこともできます。

- 次のいずれかを行います。
  - **プレビュー**ウィンドウのタイトルバーにある矢印アイコンをクリックして、プレビューを展開したり、折りたたんだりします。
  - **サーバー**リストでサーバーの隣にあるプラス記号またはマイナス記号をクリックします。
  - **サーバー**ウィンドウ全体を左に折りたたむには、左下のバーの矢印アイコンをクリックします。
  - **ジョブ概要**ウィンドウ全体を右に折りたたむには、右下のバーの矢印アイコンをクリックします。

ツールバーをカスタマイズする

ジョブセンターでツールバーをカスタマイズできます。デフォルトのツールバーアイコンを復元することも可能です。

一部のツールバーアイコンは、Fiery サーバーでサポートされている場合のみ使用できます。

1 ツールバー上で右クリックし、表示されるメニューから**カスタマイズ**を選択します。

標準セットがツールバーアイコンのデフォルトセットです。

2 **ツールバーのカスタマイズ**ウィンドウでツールを選択した後に、**追加**または**削除**をクリックし、ツールバーアイコンを追加または削除します。

3 ツールを選択し**上**または**下**ボタンをクリックして、ツールバーアイコンの表示順序を指定します。

4 **標準セット**をクリックすると、デフォルトのツールバーアイコンに戻ります。

ジョブをアーカイブする

ジョブをアーカイブすると、後で使用できるようにジョブの設定も併せて保存されます。これにより、ジョブを再度インポートして設定しなくても、すぐに再印刷できます。ラスター画像を保存して、再処理せずにジョブを再印刷できます。アーカイブジョブは、使用しているコンピューターからアクセスできる任意のフォルダー（ネットワークフォルダーなど）に保存できます。また、他のファイルと一緒にバックアップすることができます。

アーカイブマネージャーを使用してジョブをアーカイブする

アーカイブマネージャーは、アーカイブ済みジョブを Fiery サーバーから選択したフォルダーに移動し、Fiery サーバーがアップグレードまたはリロードされてもジョブが保持されるようにします。

- Fiery サーバーのすべてのジョブに対応するシンプルで安全なアーカイブソリューション
- Fiery サーバーの外部にあるジョブをアーカイブ
- アーカイブジョブを複数の Fiery サーバー間で簡単に共有
- 複数の Fiery Command WorkStation ユーザーとアーカイブを共有
- Fiery サーバーがオフラインでもアーカイブ済みジョブをすばやく検索
- 単一ビューですべてのアーカイブ済みジョブを一覧表示

アーカイブマネージャーでジョブをアーカイブしたら、アーカイブ済みキューは Fiery サーバー名のリストに表示されなくなります。代わりに、アーカイブ済みジョブはすべて、この**アーカイブマネージャー**ウィンドウでアクセスできるようになります。

アーカイブマネージャーでの初回セットアップ

1. Fiery Command WorkStation の左上角にある**アーカイブマネージャー**をクリックします。

   アーカイブマネージャーが使用できない場合は、**編集** > **環境設定**で**アーカイブマネージャーを使用**チェックボックスが選択されていることを確認します。

2. **開始**をクリックします。
3. **参照**をクリックして、アーカイブマネージャーがアーカイブ済みジョブを保存する場所を選択し、**フォルダー選択**をクリックします。
4. その場所のわかりやすい名前を**表示名**フィールドに入力します。
5. **OK** をクリックします。
6. **移行**をクリックします。

7 **アーカイブジョブの移行**ウィンドウで、ソースの場所が有効であることを確認します。

詳細は、移行中にアクセスできないフォルダー（19 ページ）を参照してください。

ウィンドウの上半分に表示される場所は、ソースの場所と、アーカイブ済みジョブが現在保存されているフォルダーです。ウィンドウの下半分で選択した場所が、アーカイブマネージャーでのジョブの移動先になります。ジョブを新しい場所に移動することで、Fiery サーバーをリロードまたはアップグレードした場合でも、アーカイブマネージャーはそのジョブをバックアップできます。

8 **移行**をクリックします。

操作がスキップまたはキャンセルされたため Fiery サーバーに移行するジョブが残っている場合、Fiery Command WorkStation ではアーカイブキューが引き続き表示されます。移行処理を再開するには、アーカイブ済みキューの青い移行ボタンをクリックします。

アーカイブマネージャーを使用してジョブをアーカイブする

ジョブの移行は一度だけです。ジョブをアーカイブフォルダーに移動したら、そのジョブと同じ場所または別の場所に後続のジョブをアーカイブできます。

1 次のいずれかを行います。

- 待機キューまたは印刷済みキューでジョブを選択し、アーカイブマネージャーにドラッグします。
- **ジョブセンター**でジョブを選択し、**アクション** > **アーカイブ**をクリックします。
- **ジョブセンター**でジョブを右クリックし、**アーカイブ**をクリックします。

2 アーカイブ先を選択します。

サムネイルとプレビューを保存することもできます（存在する場合）。

メモ：そうすると、アーカイブ済みファイルのサイズは大きくなります。

3 別の場所を指定するには、**場所を編集**をクリックし、**場所の管理**ウィンドウで**追加**をクリックします。ジョブのアーカイブ先フォルダーを選択して**フォルダー選択**をクリックします。

アーカイブ済みジョブの概要

アーカイブ済みジョブには、Fiery サーバーで受信したソースファイルのほか、ジョブに設定されたジョブのプロパティ（ジョブチケット）も含まれています。

ジョブチケットでは、カラープロファイル、キャリブレーション設定などのサーバーベースリソースを参照していることがあります。アーカイブ済みファイルは、ジョブチケットが参照していても、このサーバーリソースを保存しません。使用できないリソースをジョブチケットで参照している場合、ジョブにはそのリソースのデフォルト設定が使用されます。

アーカイブには、ジョブを元のサーバーに復元するときにのみ適用されるサーバー固有の情報と設定が含まれます。別のサーバーにアーカイブジョブを復元またはインポートすることができます。サーバーのモデルが異なる場合、サーバーは両方のサーバーに共通するジョブチケット設定を保持し、それ以外の設定はサーバーのデフォルト設定で置き換えられます。

ジョブをアーカイブする際は、処理済みジョブのサムネイルやプレビューを保存できます。その場合、ジョブのラスター画像も保存されるので、ジョブを後で処理する必要がなくなります。サムネイルやプレビューを保存すると、アーカイブ済みファイルのサイズが大きくなります。

移行中にアクセスできないフォルダー

場所が使用できない場合、アーカイブマネージャーを使用してジョブを移行することはできません。

- 使用しているコンピューターまたはネットワークで、そのフォルダーが使用可能であることを確認します。フォルダーが名前変更、移動、または削除されたために場所が使用できない場合があります。
- 読み取りまたは書き込みのアクセスができることを確認します。アーカイブマネージャーでは、使用しているコンピューターのオペレーティングシステムを利用して、認証を処理します。Windows エクスプローラーまたは macOS Finder でフォルダーを開いてみます。
- 他のコンピューター上の場所が C:\users\admin\desktop などのよく知られたパスとして一覧表示されることがありますが、それは別のユーザーのコンピューターのパスである可能性があります。このジョブにアクセスするには、他のコンピューターの Fiery Command WorkStation を使用します。

アーカイブ先を管理する

1 Fiery Command WorkStation の左上角で、**ジョブ**ウィンドウの**アーカイブマネージャー**の上にある設定アイコン⚙をクリックします。

2 実行するアクションのアイコンをクリックします。

追加	既存のアーカイブ済みジョブのフォルダーを**アーカイブマネージャー**に追加したり、今後アーカイブジョブを保存する場合は、**追加**をクリックします。
削除	場所を除去します。
編集	場所ではなくフォルダーの表示名のみ変更できます。フォルダーを移動した場合、そのフォルダーを新しいフォルダーとして再度追加します。
デフォルトとして設定	その場所を、ジョブがアーカイブされるデフォルトの場所に設定します。

アーカイブを共有する

アーカイブマネージャーのフォルダーはネットワーク、クラウドレプリケーションサービス、使用しているローカルコンピューターのいずれに存在していてもかまいません。その他のあらゆるファイルやフォルダーに使用する方法と同じように、アーカイブフォルダーをバックアップします。

ネットワークを介してアーカイブを共有する場合は、すべてのユーザーがアクセスできるネットワークフォルダーを使用します。まず、使用しているコンピューターでこのフォルダーを開いて、フォルダーが使用可能であることを確認します。Fiery Command WorkStation を使用するコンピューターごとに、このネットワークフォ

ルダーをアーカイブマネージャーの場所として追加します。ネットワーク管理者にアーカイブマネージャーのネットワークフォルダーをバックアップしてもらいます。

Fiery サーバーはアーカイブ済みジョブを共有できます。たとえば、Fiery サーバー#1 でアーカイブしたジョブを Fiery サーバー#2 で使用できます。サーバーのモデルとバージョンが同じ場合、アーカイブ済みジョブはジョブのプロパティすべてを保持します。アーカイブ先の Fiery サーバーのモデルやバージョンが異なる場合は、サーバーはすべての存在するラスター画像を破棄するので、印刷前にジョブを再処理する必要があります。アーカイブ先の Fiery サーバーでは、使用できないジョブのプロパティはすべて使用されません。印刷前にジョブのプロパティを確認してください。

アーカイブ済みジョブの検索

タイトル、ユーザー名、用紙サイズなど、列に表示される情報で、すべてのアーカイブ済みジョブを検索できます。

1 Fiery Command WorkStation の左上角にある**アーカイブマネージャー**をクリックします。

2 **検索**フィールドに検索条件を入力します。

最初の 50 件のジョブがアーカイブマネージャーに表示されます。さらにジョブを表示するには、>ボタンおよび>>ボタンをクリックします。

ジョブの属性をさらに表示するには、列見出しを右クリックし、列を追加します。

アーカイブ済みジョブを使用する

ジョブをアーカイブした後は、 Fiery サーバー上にあるかのようにアーカイブ済みジョブを使用できます。

1 Fiery Command WorkStation の左上角にある**アーカイブマネージャー**をクリックします。

2 **すべての場所**メニューで、**すべての場所**または特定の場所を選択します。

最大 50 件のジョブが表示されます。さらにジョブを表示するには、ジョブ一覧の右上角にある矢印を使用します。

3 ジョブを右クリックし、アーカイブ済みジョブに対して実行するアクションを選択します。

複数の Fiery サーバーが接続されている場合、ジョブ送信先の Fiery サーバーを選択することもできます。ジョブのプロパティすべてを保持するには、ジョブをアーカイブしたときに使用したのと同じ Fiery サーバーを**ソースサーバー**列から選択します。

アーカイブマネージャーの使用不可にする

- 次のいずれかを行います。

a) **編集** > **環境設定** > **アーカイブマネージャー**を選択し、**アーカイブマネージャーを使用**の選択を解除します。

b) 紹介画面で、**けっこうです**をクリックします。

移行後にアーカイブマネージャーを無効にした場合、移行済みのジョブはアーカイブマネージャーで使用された場所またはフォルダーに残ります。このアーカイブ済みジョブを使用するには、**ファイル** > **アーカイブ済みジョブのインポート**を選択し、フォルダーの場所を参照します。

アーカイブマネージャーを使用せずにジョブをアーカイブする

ジョブは、Fiery サーバーのハードディスク内、または外部のリムーバブルメディアやネットワークドライブにアーカイブできます。

アーカイブされたジョブは、**ジョブセンター**の**アーカイブ済み**キューに表示されます。

1 次のいずれかを行います。

- **待機**キューまたは**印刷済み**キューでジョブを選択し、**アーカイブ済み**キューにドラッグします。

  メモ：ジョブをコンピューターから**アーカイブ済みキュー**にドラッグすることはできません。Fiery サーバー上にすでにあるジョブに限り、**アーカイブ済み**キューにドラッグできます。
- **ジョブセンター**でジョブを選択し、**アクション** > **アーカイブ**をクリックします。
- **ジョブセンター**でジョブを右クリックし、**アーカイブ**をクリックします。

2 次のいずれかを行います。

- ディレクトリリストで**デフォルト設定**を選択します。
- サムネイルとプレビューを保存することもできます（存在する場合）。

  メモ：そうすると、アーカイブ済みファイルのサイズは大きくなります。
- アーカイブ先とオプション選択画面を常に表示するように指定できます。
- 別の場所を指定するには、**追加**をクリックします。ジョブのアーカイブ先フォルダーを選択して**フォルダー選択**をクリックします。

3 **OK** をクリックして、ジョブをアーカイブします。

4 いつでも**サーバー**メニューから**アーカイブ設定**にアクセスしたり、**サーバー**リスト内のサーバー名の横にある詳細アイコンをクリックしたりできます。

アーカイブ先とオプション選択画面を常に表示チェックボックスが解除されている場合であっても、アーカイブ設定を編集できます。